

市民と意見交換会・市民説明会、メールでの質疑内容

1. 期日・場所・参加者等

(市民と意見交換会)

| | | | |
|----------|-------------|---------------------|-------|
| 7月28日(水) | 19:00~21:00 | 猪野瀬地区(勝山南部中体育館) | (25名) |
| 8月7日(土) | 18:30~20:00 | 北谷地区(北谷コミュニティーセンター) | (11名) |
| 8月9日(月) | 18:30~20:00 | 遅羽地区(三室小学校体育館) | (27名) |
| 8月10日(火) | 18:30~20:00 | 平泉寺地区(平泉寺公民館) | (28名) |
| 8月18日(水) | 18:30~20:00 | 北郷地区(北郷小学校体育館) | (50名) |
| 8月19日(木) | 18:30~20:00 | 荒土地区(荒土小学校体育館) | (41名) |
| 8月20日(金) | 18:30~20:00 | 村岡地区(村岡公民館) | (28名) |
| 8月23日(月) | 18:30~20:00 | 鹿谷地区(鹿谷公民館) | (18名) |
| 8月26日(木) | 18:30~20:00 | 野向地区(野向小学校体育館) | (62名) |
| 8月27日(金) | 18:30~20:00 | 勝山地区(教育会館) | (76名) |

(市民説明会)

| | | | |
|----------|-------------|-----------------|-------|
| 7月31日(土) | 19:30~21:00 | 市民説明会(教育会館) | (22名) |
| 8月1日(日) | 9:30~11:00 | 市民説明会(勝山北部中体育館) | (10名) |
| 8月1日(日) | 13:30~15:00 | 市民説明会(勝山南部中体育館) | (11名) |
| 8月8日(日) | 9:30~11:00 | 市民説明会(教育会館) | (17名) |

(計 426名)

2. 質疑の概要

①計画(案)に至るまでと今後の流れ

..... 7件

Q①-1・現中学校を活用する案は消えたのか、勝山高校へ併設案になった経緯は？

A①-1・従来は中部中への統合案であったが、道路や駐車場の狭あいなどで反対意見が強かった。一方で勝山高校の存続に関する危機感が市民や市議会からあり、中高併設により中学校も勝山高校もパワーアップするのではとの提案を受けた。検討委員会で協議した結果、併設連携のメリットが多く、進めるべきとの答申を受けた。

Q①-2・この計画案どおりで決まりか。

A①-2・現在は市民の意見を聞く(案)の段階。

Q①-3・もっと早くできないか。

A①-3・県との協議もあり、現時点ではこのスケジュールを目標とした。

Q①-4・南部・中部の2校だけ先に統合し、北部を後にするという進め方はどうか。

A①-4・北部だけ残して先行するという方法は、簡単にはいかない。検討委員会では、2校にしてもすぐに1校にせざるをえなくなるという意見。

Q①-5・令和元年度の答申の開校時期令和6.7年度から令和9年度と2年伸びたのはなぜか。

A①-5・知事選があり、その後県で高等学校教育問題協議会が始まり、その結論を待っていた。そのため2年遅れた。

②施設面に関すること

・・・・・・・・ 17件 (含メール3件)

Q②-1・勝山高校への体育館・グラウンドの共用で授業や部活動は可能か。併設には賛成だが、ぜひ体育館の建設を。

A②-1・勝山高校と高志中高の体育館・グラウンドの面積と生徒数比較を説明。さらに近隣市有施設の有効活用と工夫調整により、可能と判断。中学校の体育館建設は要望として受け止めるが難しいと考える。

Q②-2・ジオアリーナへは国道をわたるが大丈夫か。

A②-2・ジオアリーナへはグラウンドからの道を通り信号の前に出る。すでに勝山高校バドミントン部は利用。陸橋・トンネルなどは費用対効果で疑問。生徒の安全対策について十分検討する。

Q②-3・渡り廊下の雪降ろしはどうするのか。

A②-3・雪対策については、今後しっかり検討する。

Q②-4・生徒玄関は共同で一つにするのか。

A②-4・玄関の位置は未定。共通・別々の方法も含めて、今後技術的にも検討して詰める。

Q②-5・勝山高校の周りの道が狭い。スクールバス、保護者の車、自転車を考えた道路環境の整備などの対策を。

A②-5・スクールバスの発着場は、現時点で市営駐車場を候補に考えているが、全体的な混雑緩和策を含めて、十分検討していく。

Q②-6・勝山高校周辺を文教地区にするならば県外・市外からの宿泊施設や近くに住居を構えられるような魅力あるインフラ整備をしてほしい。立地条件は大変いい。

A②-6・今後のまちづくりの観点で検討していく。

Q②-7・中学校は新しくなって勝山高校は現状のままか。

A②-7・勝山高校では普通教室とトイレのリノベーションに取りかかっている。県からは特別教棟の中を整備して中学生と共同利用するとどうか、逆に新中学校に高校生も利用できるスペースをつくとどうかとの提案がある。さらなる勝山高校の美化・整備を県に要望していく。

③中高連携による魅力向上に関すること

・・・・・・・・ 45件 (含メール3件)

Q③-1・勝山の中学生の進路と勝山高校生徒数減の原因は？

A③-1・近年、難関大学を目指す中学生が福井の高校に進学する傾向が強くなっていることを勝山高校入学実績と勝山市の中学生の進路状況について説明。

Q③-2・高校生の学力向上をお願いしたい。

A③-2・高校までは地域で学習できる環境をという県の考え。時間とお金をかけて福井へ行かなくてもいい環境を整えたい。勝山高校は来年度探究特進科（①自分で考えて行動する活動。②学力の向上。）ができる。AI教材を導入し、福井に負けないシステムとする。その上で中高併設の先取り教育によりさらに学力向上を目指す。

Q③-3・中学生に対する高校教諭による大学進学を見据えた先取り教育とは何か。
A③-3・中学校3年生段階で一部の生徒を対象に高校の内容を先に学習するシステム。

Q③-4・中高連携の中で高校受験はどうなるのか。
A③-4・県教委、勝山高校、市教委でこれから詰めていく。現時点で中3で難関大学を目指す生徒を対象に希望者による特別のクラス編成を行い、先取り教育をして一般入試なしで勝山高校に行く案。

Q③-5・中高連携で難関大学を目指す生徒を勝山で育てたいとのことだが、目標数値みたいなものはあるのか。
A③-5・まずは、中学生の半分以上が勝山高校に進学を目標にしたい。難関大学を目指す環境を整えば福井に行かず勝山高校を選択してくれるものと思う。

Q③-6・スポーツの競技力向上もお願いしたい。
・トライアスロン、柔道を部活にしてほしい・
A③-6・3中学校が統合により今までの部活の競技力は向上。新たな部活も設置。そして、より多くの生徒が勝山高校に進学すれば、現勝山高校の部活動も底上げできるはず。また、中高教員の兼務により、それぞれ中高の枠を超えて得意な部活を担当すれば、指導力も強化する。
・生徒の希望も聞いて検討する。

Q③-7・教師が授業に専念できる体制をしっかりと整えてほしい。
A③-7・県内初の県立と市立で特色ある教育を推進しようとするものであり、必要な人材をしっかりと配置できるように県教育委員会に要望していく。

Q③-8・勝山高校の魅力を最大限に活かしてほしい。
(ジオパーク学習、バドミントンの山口選手の指導)
(太鼓を小・中・高・大人と循環など)
A③-8・ジオパーク学習は小・中・高で進めたい。特に恐竜については、県立大学の新学科開設を念頭に、勝山高校でも構想している。魅力化の一つとして学力向上をすべき。(来年度から県が勝山高校に探究特進科を設置)中学校を併設してさらに魅力化の向上を図る。山口選手の話は少しでも実現できるといい。太鼓は大人まで継続。日本文化部の太鼓の延長も考え今後研究。

Q③-9・特色ある教育のひとつに「生きた経済学経営学」「戦略学」を取り入れてほしい。
A③-9・生きた経済学経営学の話は、これから社会に巣立っていく生徒たちにとって大変重要な学び。市内経済界など知恵や力をいただき、現場の先生方の意見も聞きながら、実現に近づけるように努力していく。

Q③-10・特色ある教育を達成する教師の育成計画はどのようになっているのか。
A③-10・教員育成は、この再編計画(案)を認めていただいた後、専門部会を立ち上げて特色ある教育の具体的な内容について協議検討し、その中で指導者の育成や外部講師の先生の計画についても検討していくことになる。

Q③-11・進学ばかりに注視するのではなく、普通に高校生活を充実して楽しめ、地元の魅力ある就職先を沢山教えて、子供達に地元に残って活躍したいと思えるような生徒が増える地元高校に。

A③-11・勝山高校の生徒には多様な進路があり、一人一人の進路に向き合ったていねいな指導を行い、また部活動なども含め、充実した高校生活を送れる高校となるよう応援していく。

Q③-12・高校生の悪いところをマネしないか心配。(遅刻とか素行の悪いところ等)

A③-12・中高の先生が一体となり必要な管理指導を実施する。勝山で唯一の中学校・高校としての自意識を育て、市民も応援したい。

Q③-13・小6から中学校への進学で、いじめや不登校等が気になる。特に中1の生徒に対する専門職の配置をして要請してほしい。

A③-13・まずは先生にしっかり見てもらい、専門スタッフについて県とも相談する。

Q③-14・中高一貫のデメリットがあれば聞きたい。

A③-14・教育力を高めるという意味ではデメリットはないと考える。新しい中学校・高校の文化をつくって誇りをもってがんばっていける学校を目指したい。

Q③-15・小から中へのハードルは高く、特に小さな小学校からは高い。中高併設でこれまでの小中連携が難しくなるのではと心配。

A③-15・小中は連携がとれているが中と高はみぞがある。これからは小中高連携のいい形を作っていきたい。子どもは柔軟性や環境になじむ能力に長けているのではないか。先生方の配慮目配りは必要で早く大きく伸びてほしい。

Q③-16・メリット面はよくわかったが、中学校の再編統合に関してデメリット面はどう考えているのか。どのようにクリアできるのか。

A③-16・現在の生徒同士、先生との関係など家庭的な面が多少弱くなるかもしれない。しっかりと学校運営をしていく中で活気ある新中学校にしていきたい。統合すると学校が遠くなるので、スクールバス等でクリアしていきたい。中学校が1校で小学校が9校はバランスが悪いが、まずは中学校の活性化、勝山高校の充実発展を目標としたい。

Q③-17・上昇志向はいいが、それを追い求めるような子供心を育てると見栄っ張りな人間が増え、勝山からどんどん出て行くのではないか。

A③-17・昔は勝山高校の中に特進的な学級を含む普通科、商業科があった。学力は幅広かったが、その中でもみんな仲良くやっていた。それぞれの目指すところを教育できる環境が必要と考える。

Q③-18・勝山は平泉寺があり恐竜発掘ができる。古生物や考古学的なこともできる。高校の一つの学科の課題にして育てるどうか。福井県に残る人も増えし県外からでも来るのではないか。

A③-18・勝山高校に恐竜をメインとする学科を設け、その先は県立大学へというコースを整える。という構想がある。中学校にも学習する機会を設ける。そうすると全国から関心のある生徒が中学校段階からくるかもしれない。全国から若い青年を呼ぶ手立てにもなると考えている。

④スクールバス（通学路）に関すること

・・・・・・・・ 12件

Q④-1・スクールバスは有料か？

A④-1・スクールバスは無料を考えている。

Q④-2・市営駐車場に何台運航するのか。豪雪の時は半分以下の場所になってしまう。

・スクールバスに乗らないのではないか。

・車の渋滞等も考慮してスクールバスはきめ細かく考えてほしい。

A④-2・保護者や生徒の話も聞き、使い勝手のいい運行計画、停留所、冬の雪対策等について、緻密に考えていきたい。

Q④-3・水芭蕉のテニスコートまでスクールバスで移動するという柔軟な考えもとりにいれてもらえないか。

A④-3・スクールバスの活用方法を検討する中で考えていく。

Q④-4・勝山高校への通学路が渋滞する。道路整備をお願いしたい。(長山の下から奥越特別支援学校までの道、支援学校から越前信用金庫までの道、村岡公民館から芳野医院への道)

A④-4・道路の拡幅は容易ではないが、登下校の安全確保、渋滞緩和策についてよく検討させていただきたい。

⑤その他に関すること

・・・・・・・・ 23件 (含メール1件)

Q⑤-1・工事中の30ヵ月の間、運動場が使用できないのではないか。

A⑤-1・工事技術はかなり進歩向上している。影響なしとは言えないが最小限に抑えられるよう努力する。

Q⑤-2・中学校の給食はどのようになるのか。

A⑤-2・現在小学校は自校式給食、中学校は業者に委託して配食。新中学校は設備・人等の問題で未決定。保護者の意見も聞きたい。一般的には委託やセンター方式の流れがある。

Q⑤-3・R9年度に統合だが、その前から小学生の学年ごとの交流をしてほしい。

A⑤-3・小学校段階での交流、また統合前の中学校でも交流する企画を進めていきたい。

Q⑤-4・H22年度に中学校を先行させると決まったが、中だけを先行させるのはどうか。小・中の整合性をもって進めるべきではないか。

A⑤-4・最初に提案したのが小学校3校、中学校1校。数の理論だけではなく、地域や保護者の皆さんの意見もあり、中学校を先行。小学校は地域や皆さんの意向をお聞きすることになっているので今後の状況を見ながらになる。

Q⑤-5・小学校の統合に向けて地元から意向が出た場合、市として統合を進める考えはあるのか。

A⑤-5・小学校は基本、地域と密接な関係がある教育機関。当初の9校を3校にとりいう案は今回は入っていない。各地域からの話をいただいた時点で受け止めていく。地元の方から小学校について具体的提案があればすぐに対応について協議に入る。

Q⑤-6・跡地を企業誘致などに使えるといい。

A⑤-6・跡地は地権者の方の意向、地元地域の考え方もお聞きし、勝山市にとってどう有効活用していけるかを検討し、市の重要課題として取り組んでいく。

Q⑤-7・現在の中高生の意見を聞いたらどうか。大人目線だけではなく、今の若い子が納得できる形にしてほしい。

- ・統合後に中学生になる今の幼児などについては、その保護者の意見を聞いたらどうか。

- ・意見を把握するため、SNSアプリを作成して、市と市民を繋ぐという方法も考えられる。

- ・今後、意見交換会を開催する際、学校を通じて保護者に周知するといい。

A⑤-7・現在の中高生や実際に統合中学校に入る子の保護者の皆さんからは、さらに今後適切に意見を聞いていく。

- ・その方法や周知のあり方についても十分検討する。

Q⑤-8・勝山の先生方の意見、また高志中高校の先生の意見も聞いて計画に取り入れてほしい。

A⑤-8・これまで、小中学校の校長会、特に中学校長会とは必要な話し合いをし、また全教職員を対象にリモートでの説明会も実施した。今後も十分意見を吸収するよう努める。高志中学校に関しては、校長先生から状況をお聞きしているが、効果的な中高連携の実現に向けてさらに参考意見をお聞きしたい。

Q⑤-9・ジオアリーナの上にはサルやイノシシがいる。集団で来るサルは威嚇する。獣害対策を計画の中に入れてほしい。

A⑤-9・専門家のご意見も聞きながら効果的な防御方法を考えていく必要がある。安全対策は精一杯取り組みたい。

Q⑤-10・勝山高校の生徒に通学補助をしたらどうか。

- ・長山の招魂社拝殿を市の能舞台や小中学生の雅楽に活用できないか。

A⑤-10・検討課題として研究したい。

Q⑤11・人口の流出を阻止するためにも中学校を統合して魅力を向上させ高校でも恐竜をやってもらう。何もしないと人は流出していく。勝山が住みよい活気のあるまちになるように市民も協力して先を考えたまちづくりが必要。

A⑤-11・市の第6次総合計画では、今のご意見も含めていい指針となるよう努力していく。

(計 104件 含メール7件)

*別途：意見書